

リハビリテーションセンター

1. 概要

リハビリテーションセンターは診療部門、理学療法部門、作業療法部門、言語聴覚療法部門で構成されている。診療部門は、診察、リハビリ処方を行う。理学療法部門は、起居動作・移動動作など基本的動作能力回復目的の運動療法、また呼吸器疾患、心疾患における合併症・術後の二次的障害予防・機能回復を目指した特殊的運動療法も行う。筋電図、重心動揺検査、筋力測定、心肺運動負荷試験など機能評価も行っている。作業療法部門は、生活の中で行う動作の獲得、家事動作や職業への復帰目的の訓練・援助を行う。上肢の機能評価、記憶障害・注意障害・遂行機能障害など高次脳機能障害の評価、知能検査も行っている。言語聴覚療法部門は、脳血管障害や脳の外傷、あるいは発声器官の疾患により失語症や構音障害を生じた患者、言語発達の遅れや口唇口蓋裂の小児に対する言語訓練を行っている。また、摂食・嚥下障害患者の機能の回復目的の訓練・指導も行う。

(センター長 石川 知志)

2. 活動報告

(1) 利用状況

区 分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
延患者数(人)	93,731	92,919	93,191
1日平均(人)	385.7	380.8	381.9
外来開院日数	243日	244日	244日

※病院事業収支及び活動状況（報告）